アジア里親の会　現地報告

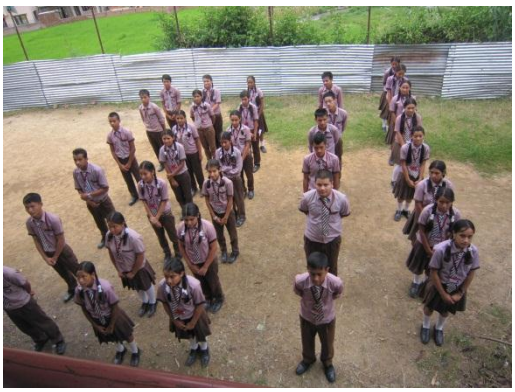
アジア協会より　ママココ大阪のママさん達へ、ご挨拶。

みなさん、こんにちは。
プラカーシュ君が学校に通えるようサポートしています「アジア里親の会」を実施しています、大阪市西区に事務所を構えるNGO「アジア協会アジア友の会」のスタッフをしています　熱田と申します。よろしくお願いします。
みなさんにはプラカーシュ君を応援し、見守っていただきうれしいです。
今後とも彼の支えとなってくださいますようお願いしますね。
この度彼の学校の様子を報告させていただきましたが、では、プラカーシュ君のいるネパールってどんな国？　毎日どんなもの食べてるの？　どのような家に住んでるの？と気になりませんか。
そんなことを知りながら、自分たちにもお役立ち情報もゲットでき、そして少しアジアの為に役立つボランティアをちょこっとする。という、
“ママさんのボランティア初めの一歩”（仮称）なるものを始めたいと考えています。
日常のちょっと困ったことも相談できる場にもなればと思っています。
詳細が決まり次第お知らせさせていただきます。
ママさんのパワーを少しアジアの方々へおすそ分けしていただければ嬉しいです。
よろしくお願いします。

現地報告

8 月 15 日、里子たちが通う、ヤシャスビ学園を訪問してきました。
1 学期末の試験が終わり、数日お休みがあったようですがネパールは 10 月、11 月に 2 大祭りが続けてあるために 1 か月ほど休暇があるため、試験終わりのお休みは3，4日ほどです。
車の故障で予定していたより、1 時間ほど遅れて学校に到着。本日の最終授業時間でした。
ララナ校長先生と里子の状況や学校の状況などのお話を　1　時間ほどした時、校長先生が、「終礼が始まるのでご参加下さい」と誘ってくださいました。先生と共に校庭に出ると、子どもたちはいつの

間にか学年別に列に並んでいます。終礼のスタートです。「毎日、一の終わりには全員が集まり集会を持つのですよ。」とのこと。10 年生と希望者は放課後に補講をするそうですが、この時間は全員が必ず集まる時間となっているそうです。すぐにバスに乗り込む低学年は鞄を背負っていますが、みんなきちんと並び、体操、連絡事項の通達が終わると全員が一斉に手を合せ
下向き加減に頭を垂れたかと思うと、「今日も一日無事に学校生活を送れたことに感謝。今日も一日私たちの為に勉強を教えてくださった方々に感謝。今日も無事に過ごすことが出来き、守ってくださったすべてに感謝。」と代表生徒一人の声に1年生から 10 年生までの在校生全員が、宗教を越えて静かに手と心を合せて一日を締めくっています。その子どもたち姿に私のこころは自然と凛としました。このような感謝の気持ちを日々の締めくくりとしていることが生徒一人一人の人間形成に重要な意味を持ち、子どもたちの日々に培われているのでしょう。
6 月に結果発表があったネパール全国中等教育修了認定試験（SLC）（10 年生修了後受験）でヤシャスビ学園の生徒は全員合格、その内、94％が最高ランク及び A ランクの合格者でした。これからもこの学園を通じ、里子を始めネパール社会に役立つ人材の育成を期待したいです。
報告：公益社団法人アジア協会アジア友の会　アジア里親の会　　担当　熱田典子
2012 年 9 月 25 日



ママココ大阪より

ママたちが、ママココ大阪を見に来て下さり、このようなことに関心を持っていただける。
そうすることで、ママココ大阪で繋がりにもっていける。そんな場でありたいと願います。
今回の報告も含め、ご自身のお子様たちへ、お話ししていただけましたらと思います。
こんな国があるのかぁ。こんなことがあるのかぁ。など、
たわいもない会話からの子どもたちの教育・関心になってければいいなという思いも強く感じます。